

二学期制の実施状況について

○ 導入の経緯

- ・ 国が示す学習指導要領の授業時数増加に伴う課題の対応

※ 授業時数に含まれない委員会活動や学校行事やそれに伴う準備時間、部活動時間などの確保等

※ 6時間授業の日が増えることによって、冬の日没時刻の早まりによる下校の安全面の確保等

○ 導入までの流れ

- ・ 2学期制導入検討委員会の実施（全17回）

（平成15年5月から平成18年11月）

- ・ 平成19年度 二学期制導入開始

○ 導入後の改善の取組

- ・ 希望者に成績証明書の発行（中学校3年生対象）

- ・ 夏休みの前に、夏休み後の期末テストのテスト範囲を提示（中学校対象）

- ・ 平成28年度より夏休み前成績表の配布（全児童生徒対象）

○ 学習指導要領が示している年間授業時数の変遷（参考）

小学校

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年
平成10年12月告示	782	840	910	945	945	945
平成20年3月告示	850	910	945	980	980	980
平成29年3月告示	850	910	980	1015	1015	1015

中学校

学年	1年	2年	3年
平成10年12月告示	980	980	980
平成20年3月告示	1015	1015	1015
平成29年3月告示	1015	1015	1015

※ 1年間の授業日は35週（小学1年生は34週）を基準としているため、35(34)時間増加するというこ
とは、週に1時間、70(68)時間増加すること、週2時間増加することとなる。

二学期制の成果について

- 授業時数の確保
 - ※ 別記「学習指導要領が示している年間授業時数の変遷（参考）」
- 安全指導の充実
 - ・ 6時間目の授業を行う日を最低限少なくすることで、冬季でも日没前に帰宅できるようにしている。
- 県及び国の学力調査等の結果
 - ・ 平均点の比較や学力の伸びの指標などから、年度によって異なるが、平均より上もしくは、県内トップレベルの状態となった。
- 教育相談の充実
 - ・ 夏休み前の、面談だけでなく、休み明けにも面談週間を実施することで、児童生徒の悩みや不安を解消できるようにしている。
- 学校行事等の充実
 - ・ 行事準備の時間の確保により、内容の充実及び安全面の指導の充実

二学期制の課題について（学校評価等から聴取した代表的なご意見）

- 夏休み、冬休み、春休みの区切りになっていないので、けじめがつかない。
- 夏休み前に通知票がもらえない。
 - ・ 夏休み中、学習面において目標を設定して過ごすことができない。
 - ・ 夏休み中の私立高校の個人面談で、提示する通知票がない。
- ※ 平成28年度より、夏休み前成績表を配布することとしている。
- 3学期制の市町村と違う。
 - ・ 3学期制をとる学校とのスケジュールが違う。
 - ・ テスト週間と部活の大会のスケジュールが他の中学校と違う。